

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年6月25日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年6月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【陸側遮水壁設備(I系)ブライン浄化ポンプフィルタユニット(C)からのブラインの滴下について】 当社社員が陸側遮水壁設備(I系)のブライン浄化ポンプフィルタユニット(C)のフィルタ下部より、ブライン(不凍液)が滴下していること、「フィルタ差圧高」発生によりブライン浄化ポンプが停止していることを確認。 ブライン漏えい箇所確認のため、フィルタユニット(C)上蓋部のVバンド廻りを確認したところ、保温材がブラインを吸収している状態ではあったが、フィルタ本体からの漏えいは無かった。滴下したブラインはふき取り済み。 ポンプ駆動状態でVバンドの締め付け確認をしたところ、若干増し締めできたことから、ブライン(-30℃程度)を長時間通水した際、Vバンドに緩みが生じ、その後、浄化ポンプが停止したことにより、ブラインが漏れ保温材に吸収しきれなかった分が滴下したと推定。 当該フィルタユニットは3基あり、今回の(C)号機が停止しても(A)および(B)号機で運転可能であることから系統機能に影響なし。 今後はVバンドの定量的な締め付け管理を実施するとともに、一定時間(30分程度)ブラインを通水した後、再度の増し締めを行うこととする。また、締め付けのダブルチェックを実施する。</p>	GⅢ	6月21日